

世界史 A 確認テスト NO1

15 世紀のヨーロッパでは、(1) が著した「世界の記述 (東方見聞録)」に刺激を受けてアジアへの関心が高まる一方、(2) の改良や快速帆船の普及など、技術が進歩した。そして、莫大な富をもたらす金や (3) を求めて、大航海時代が始まった。

まず、航海に乗り出したのはポルトガルであった。ポルトガルではエンリケ航海王子など、王室がアジア航路の開拓に積極的であった。その結果、1488 年には (4) が (5) 大陸南端の喜望峰に到達した。さらに 1498 年にはヴァスコ＝ダ＝ガマが (6 中国 ・ インド) の (7) に到着した。こうしてポルトガルがアジア航路を発見した結果、首都リスボンは世界商業の中心として繁栄した。

ポルトガルより海外進出がおくれたスペインでは、女王の (8) がコロンブスを援助した。彼は (9) の唱えた地球球体説を信じ、航路をヨーロッパから見て航路を (10 西 ・ 東) にとり、ついに (11) 島に到着し、ついで新大陸を発見した。ただ彼は発見した大陸をアジアだと思い込んでいた。このため、この大陸の先住民は (12 インディアン ・ アボリジニ) と呼ばれるようになった。その後、この大陸がヨーロッパ人の知らない新たな大陸と確認したのが、(13) であった。

マゼランもまた有名なスペインの探検家である。彼の一行は南アメリカ大陸の南端をまわって、(14 大西洋 ・ 太平洋) を横断しアジアに到達した。彼自身は現在の (15) で死亡したが、部下は世界一周を達成した。スペインは発見した新大陸にコンキスタドールと呼ばれた征服者を派遣した。(16) は (17 トウモロコシ ・ ブドウ) の原産地である北米のアステカ王国を征服した。また、南米のインカ帝国は (18) に滅ぼされた。現在世界遺産に登録されている (19) はスペインの破壊をまぬがれたインカ帝国の都市であった。スペインは新大陸征服後、さらに先住民を使って鉱山開発などを行い、過酷な労働を強制した。(20) のように先住民の救済に努めた人物もいたが、先住民の人口は激減した。このため労働力の不足を補うために (21) 大陸より黒人奴隷が連れてこられた。

※ (1)・(9)・(12)・(17)・(19)は教科書の指定したページにはありません。自分で調べて記入してください。

評価

年 組 番

(不正解 1 個まで A、3 個まで B、以下 C)

